

今月の御教え

天地は生き通しである。天地が生きているから、人間もみな生きていられるのである。

……「天地は語る」第二条……

解説

教祖金光大神様は、私達人間がこうして生きていられるのは「天地が生きているからである」と仰せられているのであります。これは言い換えれば「地球は単なる無機質な物質の集まりではなく私達人間と同じ『生命体』である」と、仰られているのであります。十年程前、NHKの『人体』についての特集番組で「人間は、小宇宙であり、人間の身体機能は宇宙の働きの相似形である」との、当時としては、今迄にない見解を聞いて、即、思い出されたことは、金光教祖様が既に百年も前に「人間は小天地である」と明言されていたことでした。そして「科学も進歩するにつれ、段々と教祖金光大神様の見解に近づいてきたのかな」と思わされたことでした。然るに明年は立教百六十年の栄えある御年柄であります。故に今から一層信心の稽古に励み、教祖様の仰せになる「天地は生き通しである」との天地の道理を、しっかりと感得させて頂きたいものであります。